原稿種 (e.g. Paper, Review, Letter, etc.)

Title of Your Paper

Author’s Name\*,†, Author’s Name\*\*, and Author’s Name\*\*\*

Date\*Your Institute, Address(es)  
E-mail: Your E-mail address(es)  
\*\*Your Institute, Address(es)  
\*\*\*Your Institute, Address(es)  
†Corresponding author

このファイルは論文執筆用テンプレート（英語版）を説明用に日本語に翻訳したものです．論文提出には，英語版のテンプレートをご使用ください．日本語の翻訳用原稿を提出される場合は，このテンプレートを使用していただいても構いません．

論文の要素（要約，見出し，本文など）用にスタイルが定義されています．ここにアブストラクトを書いてください．インデントは不要です．（アブストラクトは400語程度にしてください．）

**Keywords**: キーワード1, キーワード2, キーワード3, キーワード4, キーワード5（5つ以内）

# はじめに (Section)

このテンプレートはMicrosoft Word用です．論文のフォーマットと文章のスタイルを設定するために使用できます．余白，列幅，行間隔，書体はスタイルに定義されています．各段落が例となるようにスタイルが設定されています．文章を入力された後，スタイルメニューから適切なスタイルを選択して適用してください．

# 使用方法

## 仕様の一貫性を保つ (Subsection)

テンプレートのスタイルに，余白，列幅，行間隔，テキストフォントが規定されていますので変更せずに使用してください．

# 原稿の準備

スペルと文法の校正時に次の点に注意してください：

## 略語と頭字語

略語と頭字語は，本文で初めて使用する際に定義してください．アブストラクトで定義された後でも同様です．論文の研究分野で一般的な略語は定義する必要はありません．タイトルや見出しには，避けられない場合を除き，略語を使用しないでください．

## 単位

SI単位を使用してください．英語の単位は補助単位として使用できます（括弧内に記載）．

小数点の前にゼロを使用してください：「.25」ではなく「0.25」．

## 数式

Wordの数式機能を使用して，論文に数式を挿入してください．難しい場合は，画像として挿入できます． 数式番号は連続している必要があります．数式番号は括弧内に記載し，右揃えにしてください．ローマ字の記号はイタリック体にし，ギリシャ文字はイタリック体にしないでください．数式には句読点を付けてください．



 

 

数式の記号は，数式の前または直後に定義されていることを確認してください．「Eq. (1)」を使用し，「(1)」や「equation (1)」は使用しないでください．ただし，文の冒頭では「Equation (1) is . . .」としてください．

## 一般的な間違い

「data」という単語は複数形であり，単数形ではありません．

アメリカ英語では，コンマ，セミコロン，ピリオド，疑問符，感嘆符は，完全な思考や名前が引用される場合にのみ引用符内に配置されます．

「essentially」という言葉を「approximately」や「effectively」の意味で使用しないでください．

論文のタイトルで，「that uses」を「using」に正確に置き換えられる場合は，「u」を大文字にしてください．そうでない場合は，小文字のままにしてください．

接頭辞「non」は単語ではなく，修飾する単語に通常ハイフンなしで結合されるべきです．

ラテン語の略語「et al.」の「et」の後にはピリオドを付けません． 科学ライターのための優れたスタイルマニュアルは[1]です．

# テンプレートの使用



Source: J. Robot. Mechatron.. Vol.24 No.1

(*Source of the figure must be identified*)

**Fig. 1.** Caption for fig.

(図とそのキャプションが分離しないようにするために，テキストボックスを使用してグラフィックを挿入することをお勧めします。図は，PNG，JPGまたはPDFファイルで，解像度は300〜450 dpiが望ましく，すべてのフォントが埋め込まれている必要があります．テキストボックスの枠線を非表示にするには，「図形の書式」メニューを使用し，「色」および「線」を選択して，それぞれ「塗りつぶしなし」および「線なし」を選択してください．)

原稿を準備した後，文章をこのテンプレートの適切な部分にコピー＆ペーストできます．必要に応じてスタイルを再設定してください。

## 著者と所属

各著者の所属とその住所を記載してください．同じ所属を共有する著者については，住所を記載する必要はありません．最新の所属を使用してください．

## セクションとサブセクション

セクションにサブセクションが含まれる場合，少なくとも2つのサブセクションが必要です．

## 図と表

### 図と表の配置

図は上部に配置してください．大きな図や表は両方の段にまたがることができます．図の見出しは図の下に，表の見出しは表の上に配置してください．図や表は本文中で引用された後に挿入してください．文の冒頭を除き，「Fig. 1」の略語を使用してください．段落の冒頭では「Figure 1」としてください．

**Table. 1** Caption for table.

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **Table Head** | ***Column 1*** | ***Column 2*** | ***Column 3*** |
| Row1 | Cell 1a | Cell 2 | Cell 3 |
| a. Sample of a Table footnote. (Table footnote) | | | |

### 図と表のラベル

ラベルは「Fig.」または「Table」のみを使用し，「Photo」などは使用しないでください．図のラベルには9 ptのTimes New Romanを使用してください．読者を混乱させないように，図の軸ラベルには記号や略語ではなく単語を使用してください．ラベルに単位を含める場合は，括弧内に表示してください．単位のみで軸をラベル付けしないでください．例えば，「Magnetization (A/m)」と書き，「A/m」のみの表記にはしないでください．また，「Temperature (K)」と書き，「Temperature/K」とは書かないでください．

\*プロフィールや写真は，最初の提出時には必要ではありません．

|  |  |
| --- | --- |
|  | **Name:**  Your Name  **ORCID:**  0000-0000-0000  **Affiliation:**  Your Institute |
| **Address:**  Address of Your Institution  **Brief Biographical History:**  Your History.  **Main Works:**  • Your Works.  **Membership in Academic Societies:**  • Your Academic and/or Learned Societies | |

謝辞

資金提供元や著者以外の貢献者は個々に記載してください．

\*研究の位置付けと目的を明確にするために，著者は国際的な当誌を含めて文献を調査し，参考文献に引用してください．

参考文献

テンプレートは引用を連続して番号付けします[1]．文の句読点は括弧の後に続きます[2]．単に参照番号を引用してください，例えば[3]のように． 参考文献は本文に登場する順序で番号付けしてください．四角括弧で番号付けされた引用を使用してください．脚注番号は上付き文字にしてください．実際の脚注は引用された列の下部に配置してください．参考文献リストに脚注を入れないでください．表の脚注には文字を使用してください． ジャーナルや会議の名前は省略せずに完全に書いてください． 未発表の論文は，「未発表」として引用してください[4]．出版が承認された論文は「印刷中」として引用してください[5]．論文タイトルの最初の単語のみを大文字にし，固有名詞や元素記号を除きます．非英語の資料は，参考文献の末尾に括弧内で示してください（例：日本語で）[6]．翻訳ジャーナルに掲載された論文については，まず英語の引用を記載し，その後に元の外国語の引用を記載してください[7]．DOIが存在する場合は，発行年の後に記載してください． URLは「Supporting Online Materials」にリストし，「References」にはリストしないでください．また，URLのアクセス日（参照日）を「[Accessed January 18, 2016]」のように示してください．

採録後の最終原稿投稿の際には，引用文献のデータファイルがある場合は，データファイルも合わせて提供してください．ファイル形式は，bib，risなどの一般的な形式であれば形式を問いません．

[1] M. Young, “The Technical Writer's Handbook,” Mill Valley, CA: University Science, 1989.

[2] J. C. Maxwell, “A Treatise on Electricity and Magnetism,” 3rd Ed., Vol.2. Oxford: Clarendon, pp.68-73, 1892.

[3] I. S. Jacobs and C. P. Bean, “Fine Particles, Thin Films and Exchange Anisotropy,” G. T. Rado and H. Suhl (Eds.), Magnetism, Vol.III, New York: Academic, pp. 271-350, 1963.

[4] K. Elissa, “Title of Paper if Known,” unpublished.

[5] R. Nicole, “Title of Paper With Only First Word Capitalized,” J. Name Stand. Abbrev. (in press).

[6] H. Mori, T. Kurahashi, T. Iwase, T. Machida, A. Kozato, M. Yamashita, and H. Kitaoka, “Modeling of Pedestrian Behavior for Evaluating Safety Systems,” J. of Information Processing Society of Japan, Vol.50, No.12, pp.~3175-3185, 2009 (in Japanese).

[7] Y. Yorozu, M. Hirano, K. Oka, and Y. Tagawa, “Electron Spectroscopy Studies on Magneto-optical Media and Plastic Substrate Interface,” IEEE Transl. J. Magn. Japan, Vol.2, pp. 740–741, 1987. https://doi.org/10.1109/TJMJ.1987.4549593

[8] G. Eason, B. Noble, and I. N. Sneddon, “On Certain Integrals of Lipschitz-Hankel Type Involving Products of Bessel Functions,” Philosophical Trans. of the Royal Society of London, Vol.A247, pp. 529-551, April 1955. https://doi.org/10.1098/rsta.1955.0005

[9] https://www.fujipress.jp/jaciii/jc-authors/ [Accessed November 1, 2013]

Supporting Online Materials:

1. Fuji Technology Press Official Website.
2. https://www.fujipress.jp/jrm/rb-authors/ [Accessed January 18, 2016]

Appendix A.

Appendix A.1.